

地域みんなでまちづくり会議活動報告書

地区名	第十小学校通学区域
開催日時	平成29年5月16日（火） 午後7時から午後8時30分まで
会場	第十小学校会議棟
参加者	市民22名、地域担当職員3名 合計25名（うち男性21名・女性4名）
（議題等）	
1 コミュニティ作りをテーマとした防災事業の実施について	
2 その他	
① 次回検討事項について	
② 次回の開催日について	
（結論（決定した方針、解決すべき課題、保留事項等））	
第十小学校通学区域におけるコミュニティを作るための方法について、次回の会議で再度会員の決を採ることに決した。	
（前回の会議以降の経過）	
<p>前回（4月18日開催）の会議では、地域で活動する団体と連携を深める手段として防災を観点にした取組について、各団体を交えて議論することに決していた。しかし、その後の事前打合せ会（5月10日開催）では、取り組みを実施する予算もないなか、各団体に協力を請うのも唐突すぎるので、次回（5月16日開催）の会議では、各団体との情報交換会とすることに決した経過がある。</p> <p>また、このことが会員及び各団体に周知されていなかったことから、参加者の認識に齟齬が生じてしまった。</p>	
（会議内容（要約））	
議題1 コミュニティ作りをテーマとした防災事業の実施について	
(1) 事務局からの依頼により、地域で活動する団体として、岸自治会、第五中学校区学校運営協議会、交通安全協会宿分会及び第七分団から計8人が参加された。	
(2) 参加された団体に対して、次のことを打診した。	
① コミュニティ作りのため、地域で活動する団体と連携した取組を行いたい。	
② 会議の会員となっていきたい。	
③ 会議には、2人程度を参加させていただきたい。	
④ 会議は月に1回開催するので、可能な範囲で参加していただきたい。	
これに関して団体、会員から次のような意見が出された。	
（各団体からの御意見）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 各団体ともに（役員は）相当の負担を強いられている。このような中、（第十小学校通学区域）全体での新しい行事に参加することは難しい。 ・ この会議の目的が不明。これ以上会議が増えるのは負担である。 	

- ・ 内容を決定してから、団体に声を掛けていただきたい。
- ・ 何のために参加しているのかわからない。
- ・ 人材が不足している。人材発掘として集まりがあるとよい。
- ・ 消防団が参加するには市役所に話をとおす必要がある。OB会でもよいのではないか。

(その後の協議内容)

- ・ 3か月ごとの開催では話が進まない。毎月開催するほうがよい。
- ・ 取り組む内容は防災事業に決まったわけではなく、防災事業はコミュニティ作りにおける1つのアイテムである。
- ・ 各団体でもそれぞれ活動を行っており相当の負担もあることから、この会議としては、はじめから何かを行うのではなく、とりあえず情報交換の場として回を重ねていき、盛り上がってきてから、イベント等を考えたほうがよい。
- ・ 第八小学校通学区の地域まちづくり会議では、会議の役割はコーディネーターであった。

(各団体の退席後)

- ・ 過去の会議録をみても、議決した内容がぶれているように感じている。この会議で一度決めたことは、進めていかなければいけないと思う。
- ・ 毎月来れる方で会議を進め、全体会は3か月に一度の会議で、というように異なる形で進めていくことは好ましくない。また、毎月開催することは負担が重過ぎる。
- ・ 再度、原点に戻って、7月の会議で正式に決を採り、方向性を決めることにする。

議題2 その他

① 次回の検討事項について

十小通学区におけるコミュニティを作るための方法について、次回の会議で再度会員の決を採ることに決した。

② 次回の開催日について

次回予定欄のとおり。

(次回予定)

日 時 平成29年7月18日(火) 午後7時から

会 場 第十小学校会議棟

議 題 等 コミュニティ作りについて